

会 議 概 要 書

会議の名称	平成 27 年度 伯耆町有線テレビジョン放送番組審議会
開催日時	平成 28 年 2 月 18 日（木） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 15 分まで
開催場所	伯耆町役場 応接室
出席者	【番組審議委員】 車睦宏、秋田寿江、小澤敦彦、田中治伸、（欠席：濱田真代） 【事務局】 企画課 森課長 木村室長 横山 来海、(有)メディアテック 日置
会 議 の 主 な 内 容	
【協議項目及び協議内容】	
【協議事項】 1. 自主放送番組について 2. 平成 28 年度 番組モニター募集（案）について 3. その他	
【 概 要 】	
1. 開会（事務局） 濱田委員より欠席の報告を受けております。 2. あいさつ （森課長）伯耆町有線テレビジョン放送への加入は、町内 3,300 世帯を上回り、町内の貴重なインフラとなっている。その番組基準を審議して頂いたり、番組への意見等を頂くのがこの審議会である。平成 27 年度も視聴者からご意見を承っている。皆様から意見を頂き、番組制作に活かしていきたい。 3. 役員選任 委員の互選により 会長：田中治伸（再任） 副会長：秋田寿江（再任） 4. 報告 （1）ケーブルテレビ加入状況について （2）放送事故について 資料に基づき事務局より説明 <質疑> 無し 5. 議事 （1）自主放送番組について 番組を視聴していただき、感想、意見を伺う。 ① HCT 特集「本はともだち 溝口中学校図書委員会の取り組み」 <意見感想> ・企画は、メディアテック（制作会社）でされたのか？以前、鳥取市に視察に行ったときに同様の取り組みをされていた。溝口中もとても良い取り組みだと思った。 →メ）最初は、ニュースとして取り上げた。とても良い企画だったので、番組として掘り下げて制作することになった。	

・続けてほしい、良い番組だと思った。

② 住民パワーde 村づくり「番原集落の取り組み」

<意見感想>

- ・集落の取り組みが良くわかる番組。年間を通して、追いかけて取材されていたのか。
→メ) これまで、ニュースで取り上げた話題など、集落に取材に行き撮りしていた映像がある。そういった映像を使って、年間の活動を紹介した。
- ・ニュースで取り上げるのは、集落から取材依頼があったものか
→メ) 集落からの取材依頼は多くないがある。役場からの情報をはじめ、様々なところから情報収集をして取材に出かけている。取材が重なった場合は、集落から取材依頼があったものを優先するようにしている。
- ・他の集落にも参考になる取り組みであり、良い番組だと思う。
- ・集落側も積極的に活動していることをもっとアピールしても良いと思う。自分たちの思いを発信していくことが必要だと感じた。
- ・番原集落の場合、2人のリーダーのインタビューだが、何人かの話し合い、打ち合わせをする過程が見たい。

③ 新番組について

- ・以前から、ダーツの旅のような、集落の人にインタビューするような番組を作ってはどうかとの話があった。おもしろい企画だと思う。
- ・仮のタイトルなどは？
→「ぶらぶら探伯耆」(ぶらぶらたんぼうき) (仮) を考えている。
- ・まだ、番組で取り上げられていない集落などを知る機会になり、バランスがよいと思う。

④ その他

- ・教育現場から見て、教育効果はどうか？
→子供たちが考えてできたことを取材で取り上げてもらおうと、子供たちの達成感にもつながる。
- ・テレビと学校との関係で、保護者の反響は？
→特に悪い反響はない。学校側として、撮影NGの対象者でないか事前に保護者に通知をしている。以外と観ていない保護者が多い。
- ・文字放送が多く、見たいときに見られない。
- ・今日のニュース項目を文字放送中に入れてはどうか。今日、どういった項目を放送するのかわかると見やすい。
→技術的には可能。検討する。
- ・女性キャスターにも出てほしい。
→人材育成に努める。

(2) 平成28年度 番組モニター募集(案)について

モニター(案)を事務局説明

平成26年度、平成27年度ともにモニター募集するが応募者なし。

<質疑・意見>

- ・NHKのモニターをしている。年間何度も感想文を提出する。結構、面倒なイメージ。アンケート方式などを取り入れると、書きやすい。
- ・パソコンで記載でき、400字の字数制限を無くして、応募しやすくなっていると

思う。

- ・チラシは入れた方がよい。
- ・意見交換会や、電話での感想、ホームページの掲示板などで意見を受け付けるのはどうか？

→事務局) 他の放送局でもモニターの形式は様々あるようで、意見交換会を開催しているところもある。HPの掲示版のように匿名にすると、誹謗中傷のような意見が出てくる可能性があるので避けたい。

6. その他

○番組への視聴者の意見

平成27年6月、伯耆町内での刑事事件が1件発生。NHK、民放各社、中海テレビは取り上げたが、伯耆町有線テレビは放送しなかったことへの疑問、意見

(事務局対応)

現在のスタッフの体制では、正確な事実確認をすることが非常に難しい。報道専門のスタッフもいないし、記者クラブからの情報も入ってこない。そういった状況の中で、自治体が運営しているテレビ局として、不正確な情報を流すことはできない旨をお伝えし、ご理解頂きたいこととお話した。

7. 閉会